

ユネスコ工芸都市加盟認定から10年。活躍する工芸家たちの手仕事に迫り、作品に込められた想いや制作のこだわりを紹介します。



つくる人

Vol.1

いちのしょうた

市野翔太さん

(陶幸窯)

オリジナルの釉薬から生み出される質感や色味が目を引く陶芸家・市野翔太さん。家が窯元だったこともあり高校卒業後、京都で陶磁器や釉薬の勉強をした後、故郷に戻り、父の市野浩祥さんに師事されました。

何となく始めた陶芸でしたが、大きな転機となったのは、丹波焼の若手陶芸家グループ「グループ窯」に入り、先輩の作品をいろいろと見るようになったこと。「今まで自分が思っていた丹波焼のイメージとかけ離れていることと

オリジナルの釉薬から生み出される質感や色味が目を引く陶芸家・市野翔太さん。家が窯元だったこともあり高校卒業後、京都で陶磁器や釉薬の勉強をした後、故郷に戻り、父の市野浩祥さんに師事されました。

何となく始めた陶芸でしたが、大きな転機となったのは、丹波焼の若手陶芸家グループ「グループ窯」に入り、先輩の作品をいろいろと見るようになったこと。「今まで自分が思っていた丹波焼のイメージとかけ離れていることと

「自分の作った作品を焼くまでどんな色になるのか分からないので、そこは楽しいところなんです。釉薬の調合が自分の中で納得できたら、次は土づくりのこだわりだと思います。自分で掘った土を使っている作品をつくっていくけれど力強く話されました。



- 催しのご案内**
- 丹波焼の里 春ものがたり
5月3日～5日
(陶の郷&丹波焼各窯元)
 - 軽トラ市
5月5日
(兵庫陶芸美術館前道路)
 - 展覧会
8月6日～12日(神戸阪急)



丹波篠山盆桜展

丹波篠山盆栽会 (小山辰彦代表・22人)

4月2日から7日まで丹波篠山市民センターで行われた「第31回丹波篠山盆桜展」。愛好家の皆さんが丹精込めて育てた約30点が展示され、訪れた人の目を楽しませていました。この桜だけの盆栽展を企画しているのが、丹波篠山盆栽会の皆さん。1985年に結成された同会は、盆栽の楽しさを知っていただくため、盆栽教室を毎月開催したり、多くの盆栽展に出品されたりしています。同会代表の小山辰彦さんは、「今回の盆桜展では、丹波篠山国際博に併せて、来場者に日本文化に触れてほしいとの思いを込めて、市文化協会と連携し、琴や尺八演奏会の開催やお茶席を設置しました」と話します。「今は世界的にも盆栽ブーム。今後もより一層精進し、励んでいきたい」と、将来への思いを込めて話されました。



丹波篠山国際博だより

このコーナーでは、丹波篠山国際博に併せ、グレードアップしたイベントや取り組み、祭礼を紹介していきますので、お楽しみください。また、「丹波篠山国際博観光ガイドブック」を発行し、市内の拠点施設で配布していますので、ぜひ手に取ってご覧ください。

【問い合わせ】丹波篠山国際博実行委員会事務局 ☎ 558-8891

篠山観光案内所、丹波篠山市役所、城東支所、丹波篠山溪谷の森公園、多紀支所(SHUKUBA)、チルドレンズミュージアム、泊まれる学校おくも村、ささやまの森公園、西紀支所、黒豆の館、丹波篠山キャンプ場やまもりサーキット、丹南支所、篠山口駅観光案内所、味土里館、丹波並木道中央公園、今田支所、丹波焼伝統工芸公園陶の郷、こんだ薬師温泉ぬくもりの郷

青山神社例祭

篠山城内町の春を彩る青山神社例祭が4月5日・6日の両日、篠山城跡内にある青山神社で行われました。1882年に創建された青山神社は学問と教育の神さまといわれ、篠山城主であった青山家第10代当主青山忠俊、第18代当主青山忠裕がまつられています。6日に行われた本宮では、神事に続き、「少年武者・少女長刀行列」が行われ、甲冑やはかま姿に身を包んだ子どもたちの一行が、青山神社から春日神社までの道のりを勇壮に練り歩きました。例祭で当番町を務められた内藤芳明さんは、「今年の例祭は、丹波篠山国際博に併せて、プロジェクトマッピング期間中は参道のライトアップを行い、青山神社をクローズアップするようにしました。今後も、学びの場を充実してこられたその歴史と伝統を大切に、次世代につなぐという意味合いをもったこの例祭を、大切につないでいきたい」と話されました。



今月のこんにちは市長室

市長が市政に対してのご意見やご要望をお聴きする場として開催しています。事前の申し込みは不要で、懇談会または1人15分程度の面談です。

とき 5月12日(月) 13:30 ~ 16:00

ところ 西紀支所

問い合わせ 市長公室 ☎552-5109

ふるさといちばん

市長の **HOT** とーく

丹波篠山の時代をつくろう



丹波篠山国際博が開幕

いよいよ「丹波篠山国際博 日本の美しい農村、未来へ」が開幕しました。

4月1日には大書院でのお能と光のプロジェクションマッピングの生ライブで幻想の世界に！この光の演出と神戸ビーフやキッチンカーが集まる篠山城跡三の丸南広場での「うまいもんお城横丁」は、5月6日まで開催します。また、5月には「こども万博」「丹波焼の里 春ものがたり」「御田植祭」「多紀連山クリンソウ」などが予定され、一年間を通して、美しいまちなみや自然の姿、祭礼地域のイベントなどをアピールします。市の誇れる取り組みである「日本遺産」「農都のめぐみ米」「ふるさとの川再生」なども紹介します。



篠山城跡のライトアップ



青山神社例祭



音話ミュージカル「鼻の助太郎」



新しい丹波篠山観光大使の皆さん

新しい年度もスタート、「子育て、定住に大きく飛躍」



新卒就職者合同研修会(丹波篠山市商工会提供)

新しい年度もスタート、「子育て、定住に大きく飛躍」します。「たんばささやま 暮らしのとりこ」を新しいキャッチフレーズにして、子ども医療費の無償化、給食費の半額補助をはじめ、出産子育て応援給付金、マイ助産師、こども園、日本一の学校給食などの充実にも努めます。これに加え、丹波篠山市の自然とあたたかい人たちに包まれた環境は抜群です。これを生かし、それぞれの地域・集落の魅力やここで暮らす幸せを見つけ、若い人の定着、子や孫に帰ってきてもらう、空き家を活用して移住者を呼び込むなど、ふるさとを未来につなげる「ワクワク農村未来プラン」の取り組みを支援します。

大学連携でんしよばと

問い合わせ

神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボ ☎FAX 506-6628

丹波篠山フィールドステーション ☎FAX 506-2366

神戸大学学生生活活動団体の紹介

神戸大学農学部での授業である「実践農学入門」や「実践農学」を履修した学生たちは、丹波篠山市で自主的にサークル活動を続けています。

地域密着型サークル にしき恋

農業ボランティアで丹波黒大豆を栽培し、大学で販売しています。その他にも、地域の小・中学生との交流、丹波大山駅の活性化などの地域活動、市内の祭への参加など、地域との関わりを深める取り組みも行っています。

活動拠点=西紀南地区



国際農業サークル AGLOC

「国際交流」と「農業」を軸に、神戸大学の留学生と活動しています。農業ボランティアや、留学生をガイドしながら城下町観光、山の芋を使った新製品を紹介・販売するイベントへの参加など、地域とも積極的に交流しています。

活動拠点=岡野地区



多世代交流拠点サークル Luonto

連携先のアグリステーション丹波ささやままでのイベントのボランティア、市主催の「親子でワクワクフェスティバル」への参加、自主的なイベントの開催、学生カフェの運営などを行い、地域の交流の場を作っています。

活動拠点=城南地区



丹波篠山市役所では、どんな仕事に携わりましたか

1年目は、ふるさと納税をはじめ、企業版ふるさと納税に取り組みしました。2年目からはPR奨励金や、包括連携協定、関係人口の創出など、さまざまな業務に取り組みしました。マニュアルを見て、答えがのっているという仕事ではなかったため、どういった方法でこれを解決していけばよいのか、悩むことも多くあり、最初はすごく苦労しました。

特に思い出に残っている業務は何ですか

ふるさと納税の実績をあげられたことです。2024年度の寄付額が過去最高の約4億5千万円(2024年12月末現在)を突破し、寄付申込件数も12万5千件と過去最高を更新しました。

2年間の市役所勤務を振り返ってみて、感想をお聞かせください

ご縁があって、市役所に来させていただきました。行政での経験は誰もができることではないので、本当によかったと思います。私自身市民ではありませんが、丹波篠山市に関心を持ち続け、これからも応援し続けたいと思います。振り返ると一瞬でしたが、濃い2年間でした。保険会社に戻っても、この経験を忘れず、生かしていきたいと思えます。

活動レポート

第一生命保険株式会社からの派遣職員

ふるさと応援推進室 佐々木絢乃さん

令和5年4月に包括連携協定を締結している第一生命保険株式会社から派遣され2年間、ふるさと納税などを担当されてきた佐々木絢乃さん。4月から第一生命保険(株)に戻られることになりました。ここでは、丹波篠山で学ばれた活動の成果をお届けします。(聞き手=秘書広報課)

